

さぎん 会社説明会

泥くさくても誠実に

～「さぎんさん」、「佐賀銀行さん」と「さん付け」で呼んでいただける銀行をめざして～

平成24年11月

※本編は平成24年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を平成24年9月期の計数に置き換えたものです。



目次

1. 平成24年度中間期損益の状況	…	3
2. 有価証券の状況	…	4
3. 自己資本比率・Tier I 比率の推移	…	5
4. 不良債権比率の推移	…	6
5. 与信リスクの分散	…	7
6. 統合リスク管理	…	8
7. 福岡戦略の成果	…	9
8. 役務取引等利益の状況	…	10

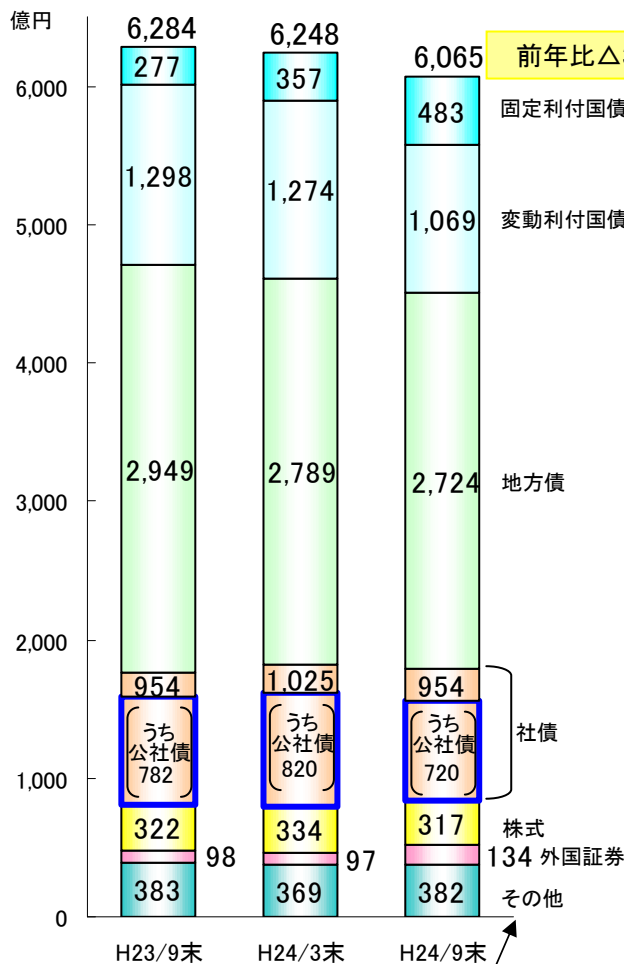
1. 平成24年度中間期損益の状況

項 目	番号	平成23年度中間期	平成24年度中間期	備 考	
				前年比	
業務粗利益（除く債券5勘定戻）	1	15,941	16,061	+120	
〃（含む 〃）	2	16,803	17,035	+232	
資金利益	3	13,968	13,230	△ 738	
資金運用収益	4	14,755	13,831	△ 924	
貸出金利息	5	11,216	10,423	△ 793	△ 7.0% { 貸出金平残 +0.0%
有価証券利息配当金	6	3,410	3,291	△ 119	△ 3.4% { 有価証券平残 +7.5%
その他	7	128	116	△ 12	〃 利回り △ 10.3%
資金調達費用	8	787	600	△ 187	預貸金利鞘 0.53% → 0.43% (△ 0.10% ポイント)
預金等利息	9	607	474	△ 133	
その他	10	180	126	△ 54	
役務取引等利益	11	1,764	1,550	△ 214	
役務取引等収益	12	3,237	3,031	△ 206	投資信託関係 △114 年金保険関係 △33
〃 費用	13	1,472	1,480	+8	
債券5勘定戻	14	861	974	+113	
その他の業務利益	15	207	1,279	+1,072	
経費	16	12,200	12,046	△ 154	人件費 △80 物件費 △48
コア業務純益（除く債券5勘定戻）	17	3,740	4,014	+274	
〃（含む 〃）	18	4,602	4,988	+386	
クレジットコスト	19	△ 815	137	+952	クレジットコスト
一般貸倒引当金繰入額	20	△ 1,200	△ 751	+449	貸出金平残 = +0.02% (昨年比+0.15%ポイント)
個別 〃 〃	21	291	871	+580	
債権売却損等	22	93	16	△ 77	
その他の臨時損益	23	△ 614	△ 4,054	△ 3,440	株式等償却 +3,334
経常利益	24	4,802	796	△ 4,006	
特別損益	25	△ 226	△ 391	△ 165	減損損失 +150
税引前中間純利益	26	4,575	404	△ 4,171	
法人税等・法人税等調整額	27	1,702	323	△ 1,379	
中間純利益	28	2,873	81	△ 2,792	

※単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 有価証券の状況

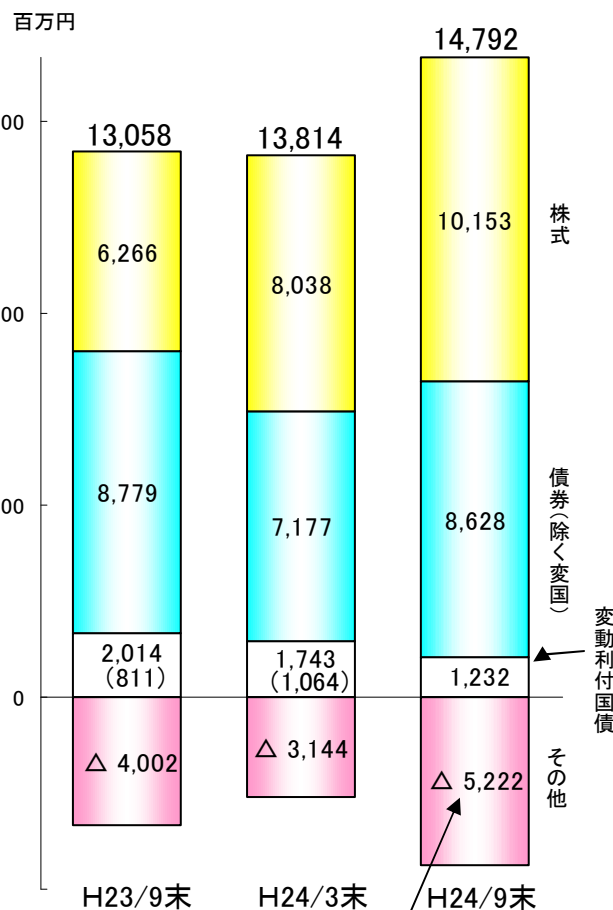
1. 有価証券残高(BS計上額)



「その他」の内訳
 REIT 19
 その他の投資信託 355
 投資事業組合 6

※億円未満は切り捨てて表示しております。

2. 「その他有価証券」の評価損益

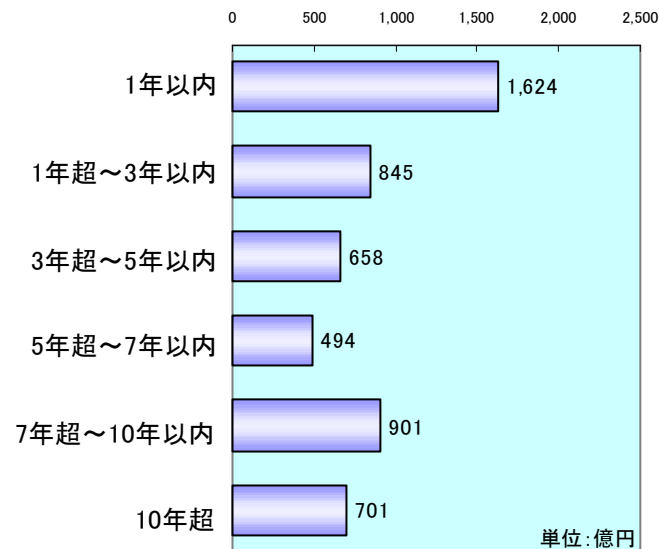


うち「△4,482」は金利リスクヘッジのための債券ベア型投信

※百万円未満は切り捨てて表示しております。
 ※変動利付国債は理論価格にて評価、ただし、H24/9末では時価と理論価格に大きな差異が無かったため、時価を採用しております。
 なお、市場価格による評価は()内に表示しております。

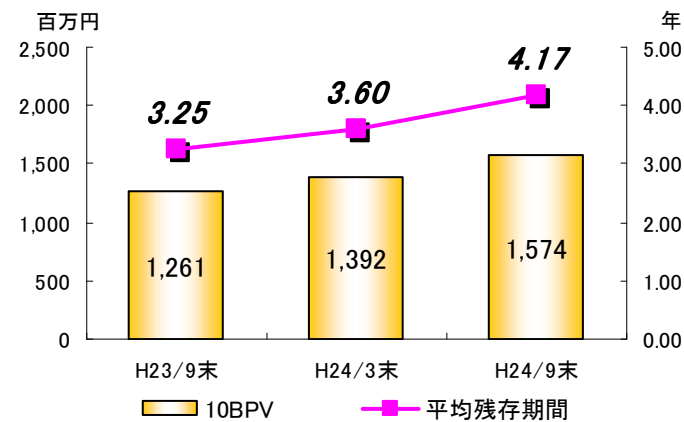
うち「264」は金利リスクヘッジのための債券ベア型投信

3. 円建債券の残存期間別残高(H24/9末)



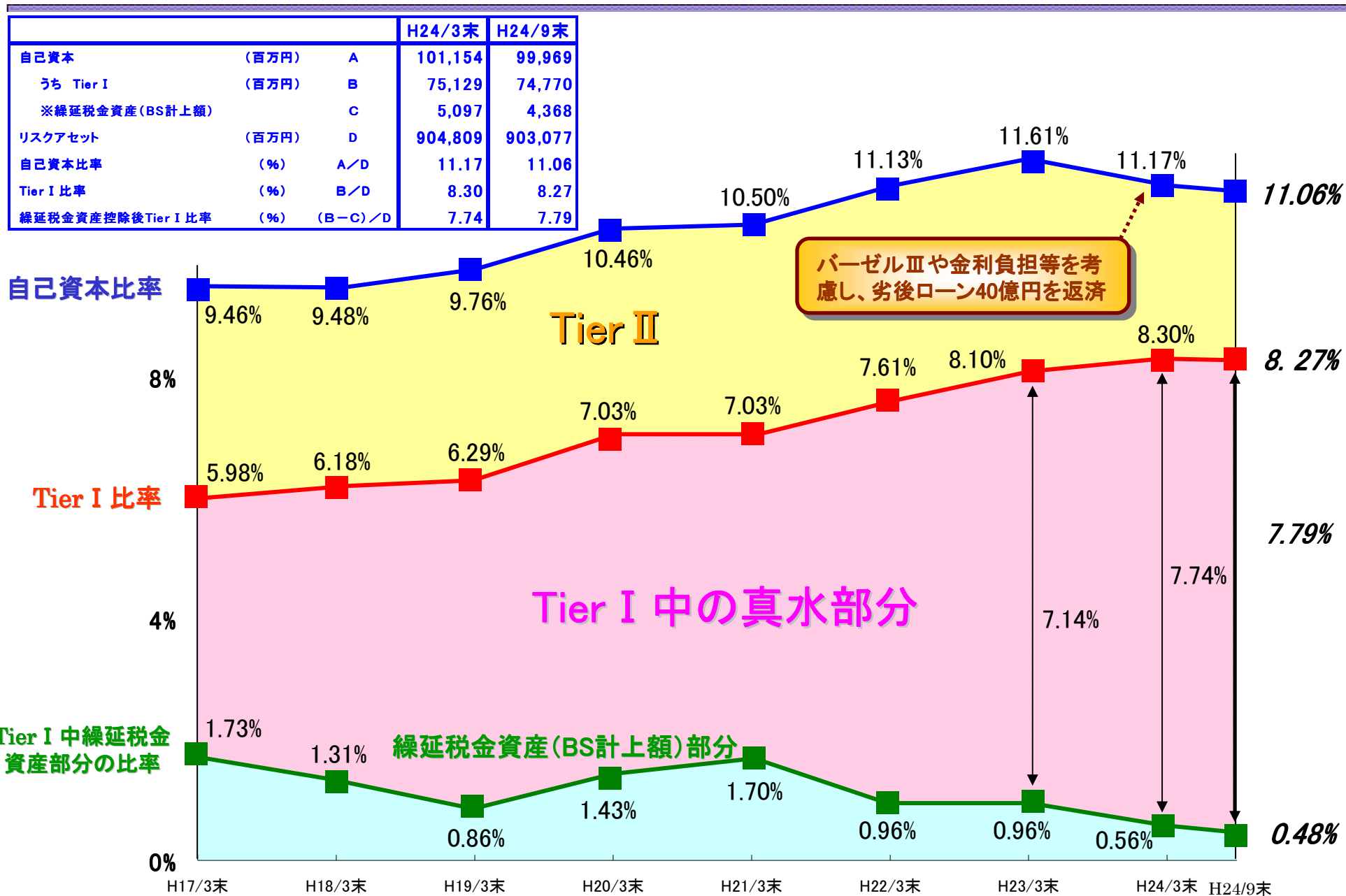
※「1年以内」には変動利付債を含む。
 ※億円未満は切り捨てて表示しております。

4. 円建債券の平均残存期間と10BPV



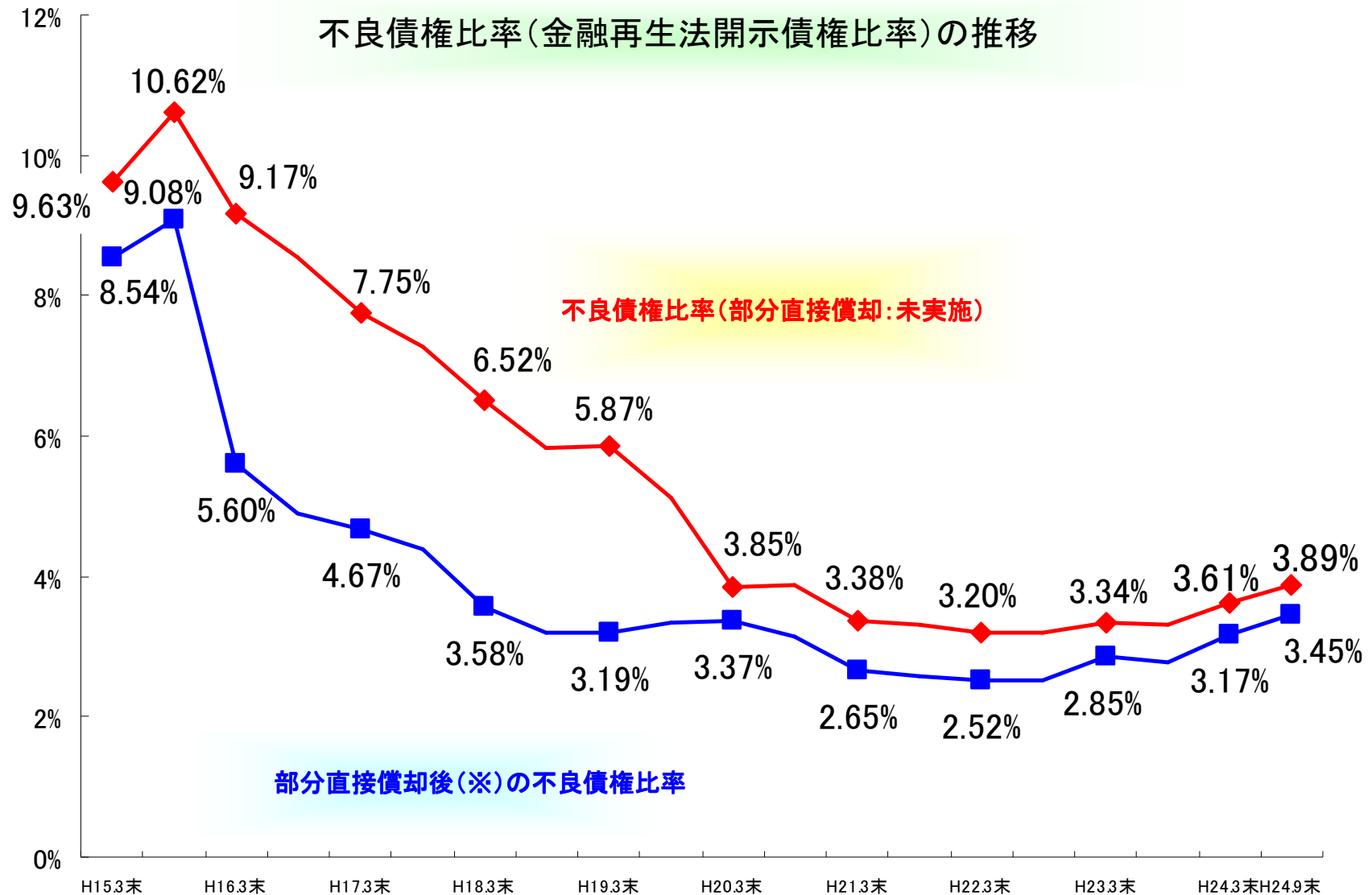
※平均残存期間は変動利付国債は0.5年として算出。
 ※平均残存期間および10BPVはヘッジ考慮後にて算出。

3. 自己資本比率・Tier I 比率の推移



※「H18/3末」までは旧基準、「H19/3末」以降は新基準にて算出。新基準における信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

4. 不良債権比率の推移



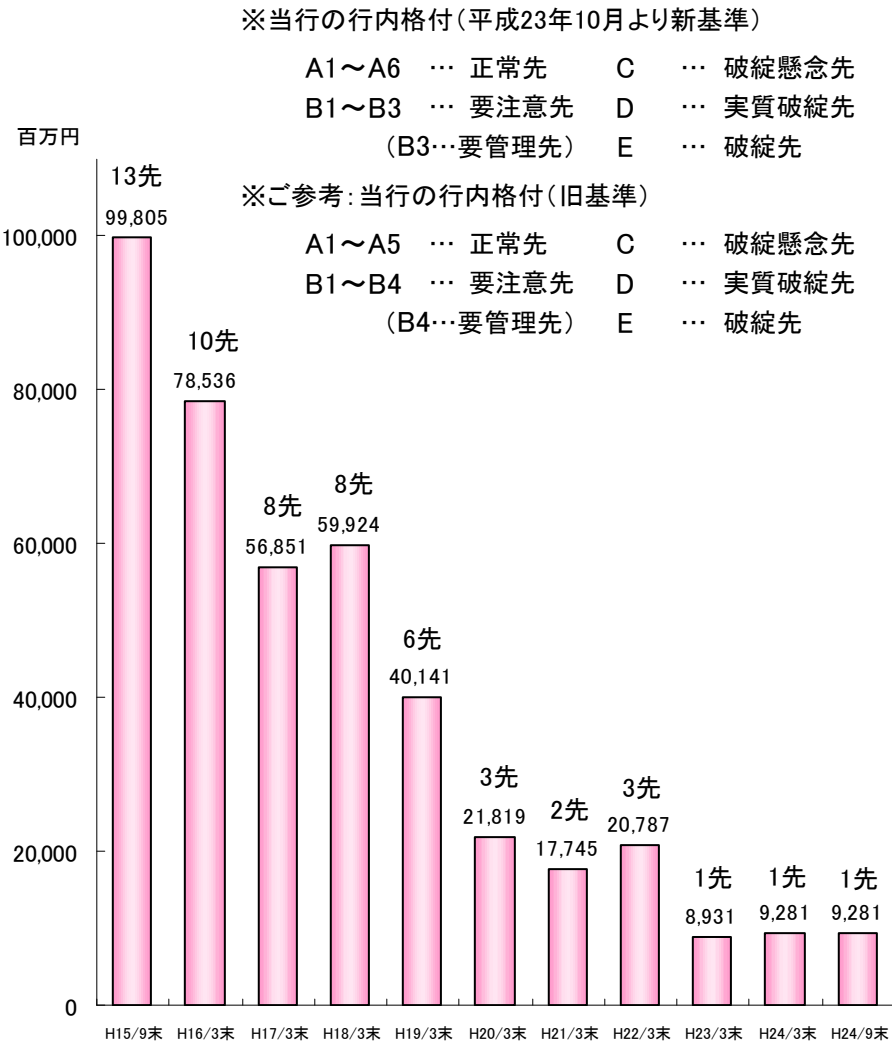
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

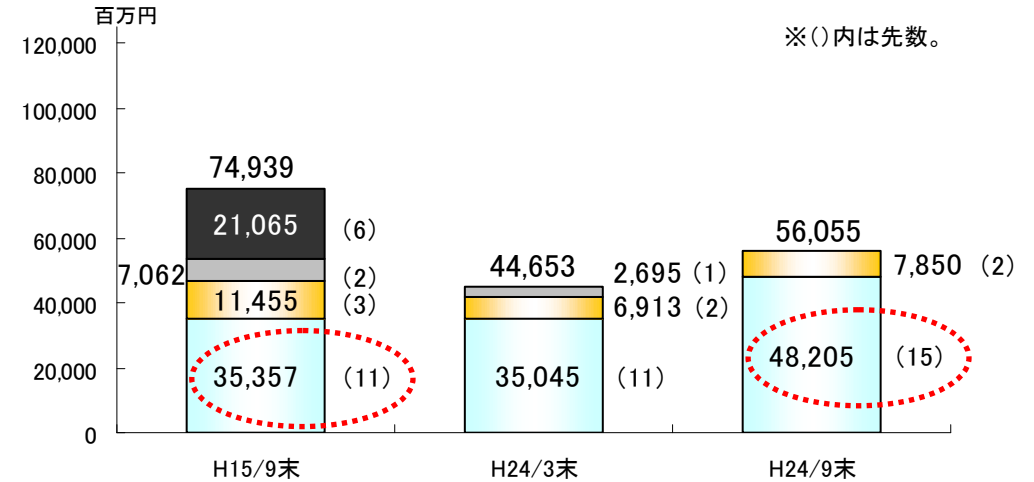
※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

5. 与信リスクの分散

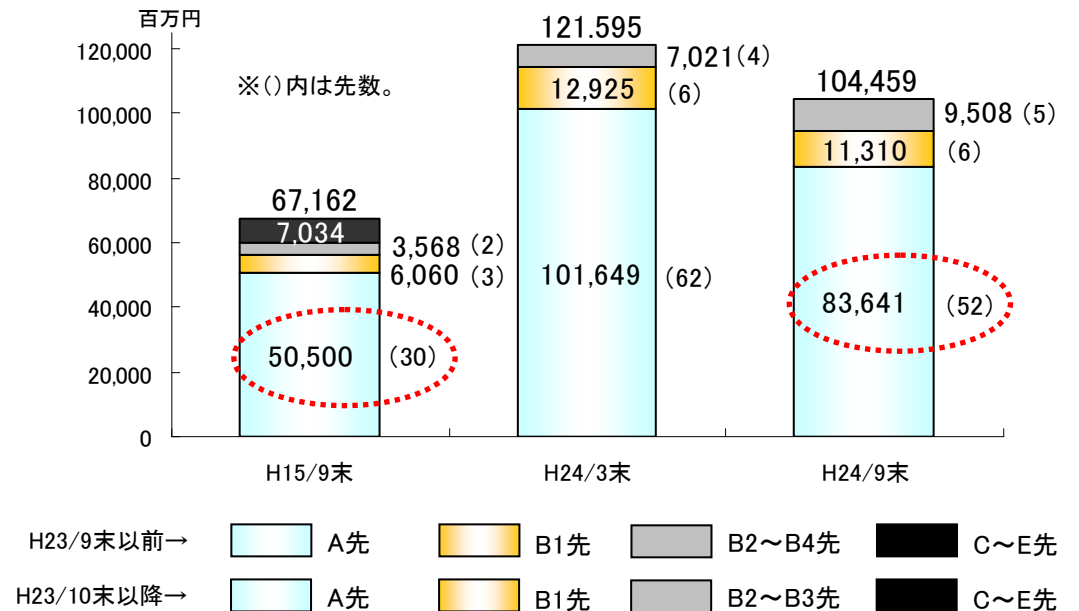
1. 1先与信額50億円超



2. 1先与信額25億円超50億円以下

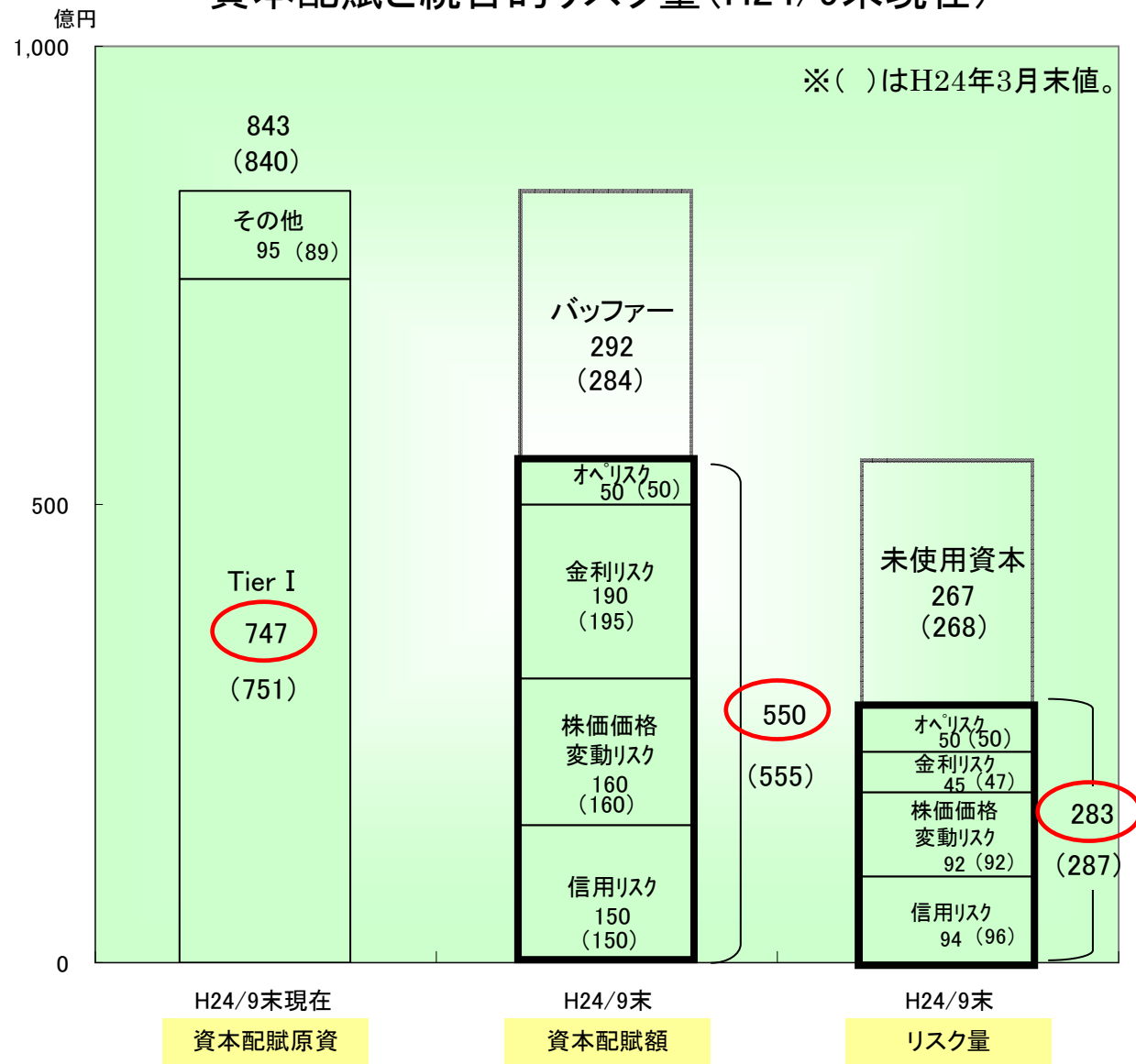


3. 1、2以外の信用与信額10億円超



6. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量(H24/9末現在)



リスク計測基準

信用リスク	… 保有期間	1年
	信頼区間	99%
金利リスク	… 保有期間	1～60日
	信頼区間	99%
株価価格変動リスク	… 保有期間	20～125日
	信頼区間	99%
オペレーショナルリスク	… バーセルⅡ 基礎的手法	

※相関は考慮していません。

アウトライヤー比率(H24/9末)

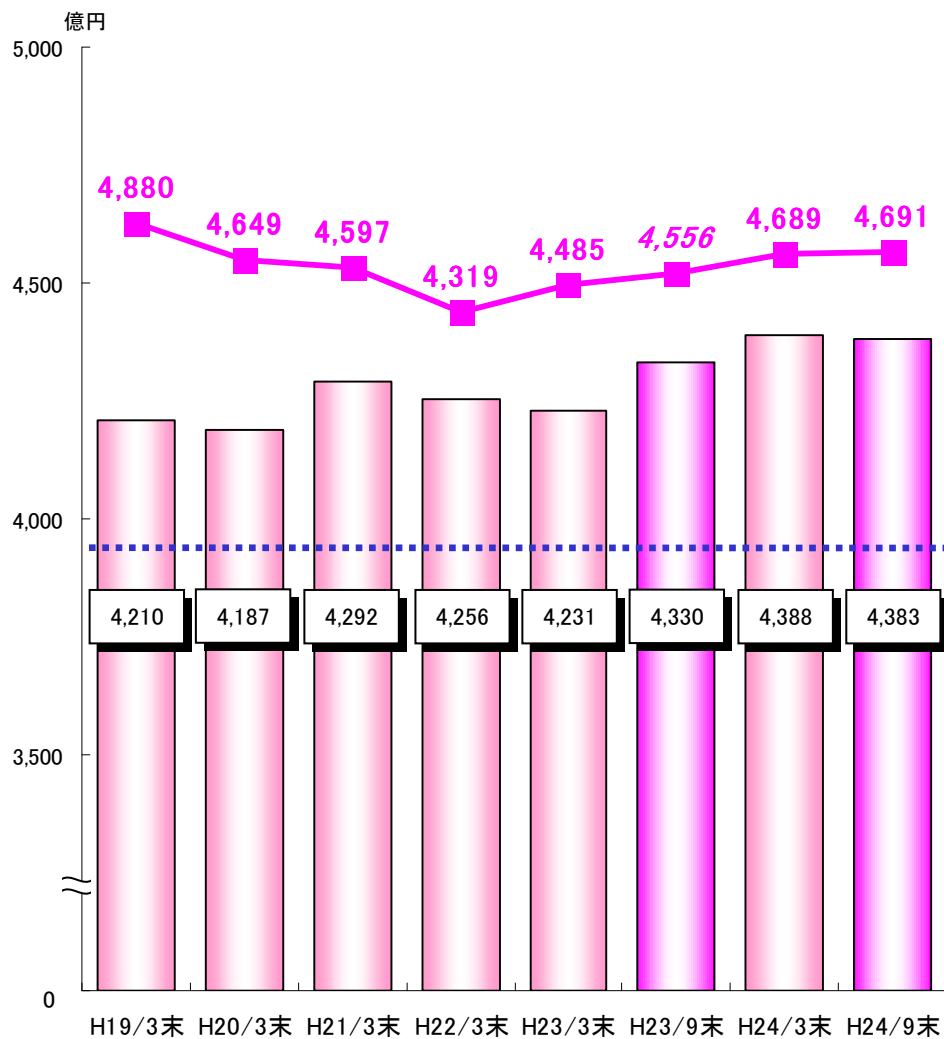
金利リスク量 (億円)	Tier I + Tier II (億円)	アウトライヤー比率
56 (24)	999 (1,011)	5.67% (2.43%)
(注)参考値 82 (102)	999 (1,011)	8.27% (10.10%)

※計測方法: 完全再評価方式 ※金利ショック幅: パーセンタイル値
 ※コア預金: 内部モデルにて計測 ※億円未満は切り捨て
 ※(注)参考値は、当行の資産、負債ポジションにとって一番不利な過去の金利ショック幅(H22.9.30時点の99パーセンタイル値)を使用して算出した値。
 ※下段の()は前年度末値

※その他=その他有価証券評価差額金 ※億円未満は切り捨てにて表示

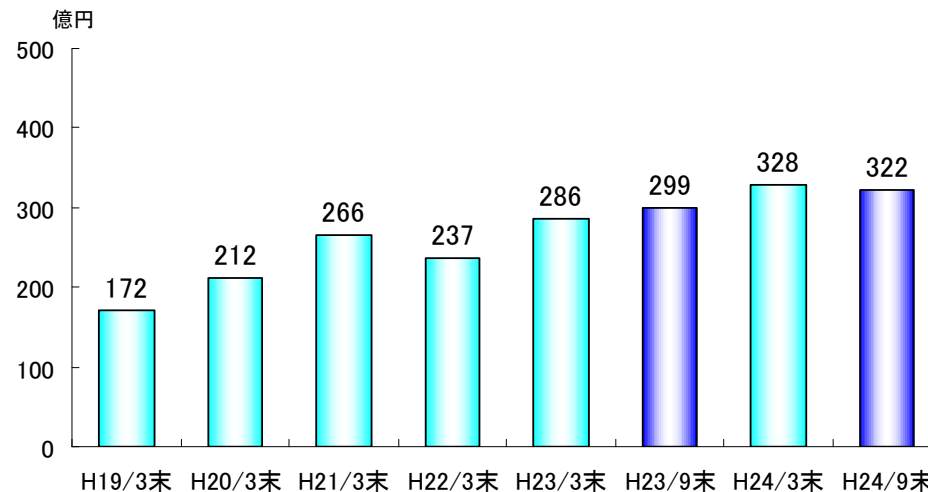
7. 福岡戦略の成果

1. 福岡県内における貸出金残高と事業者先数の推移

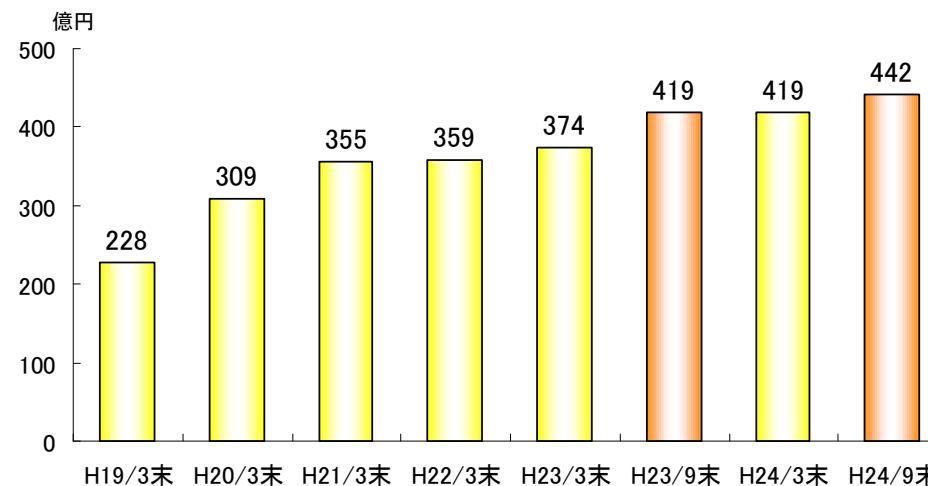


福岡県内事業者先数の推移
 ※億円未満は切り捨てて表示しております。

2. 法人渉外室の開拓先の貸出金残高推移

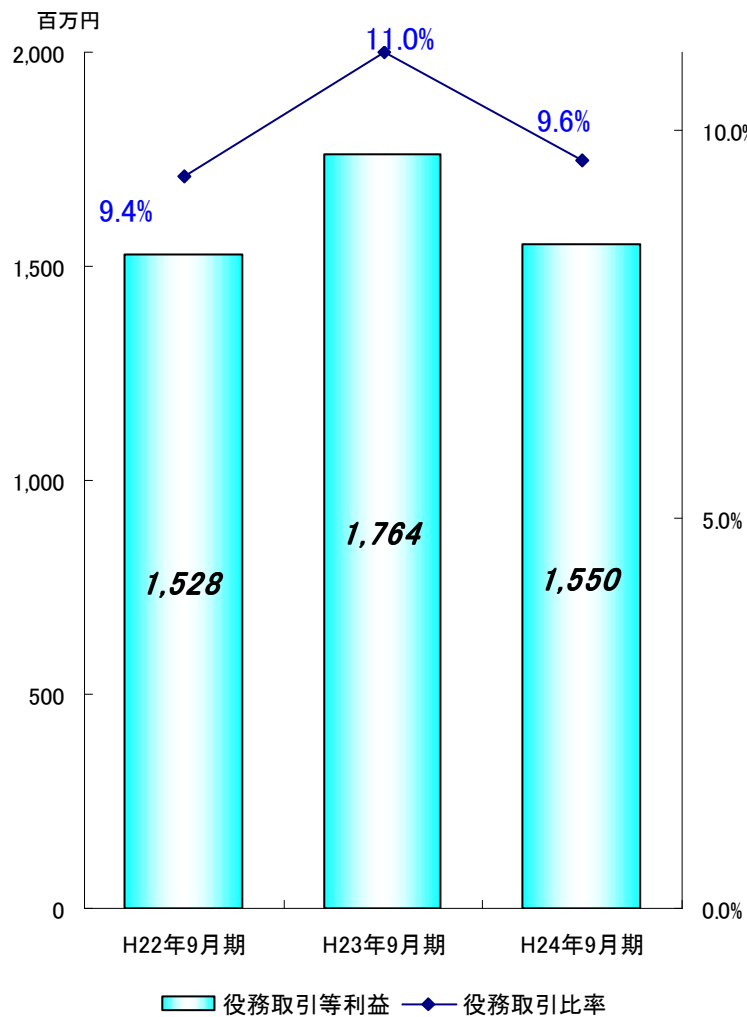


3. 融資開拓専担者の開拓先の貸出金残高推移



8. 役務取引等利益の状況

役務取引等利益の推移

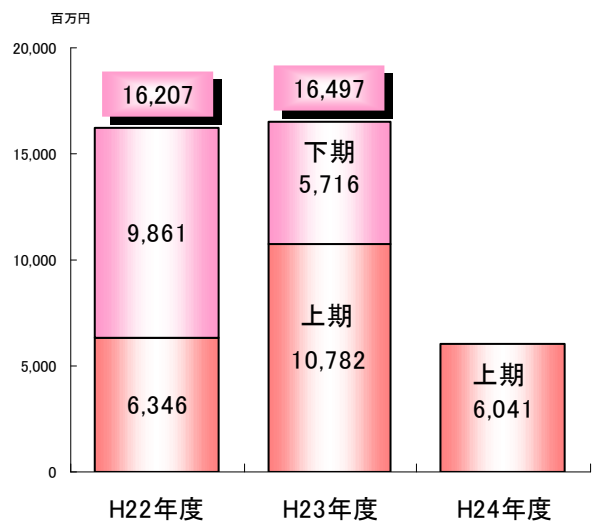


※役務取引比率 = 役務取引等利益 ÷ コア業務粗利益

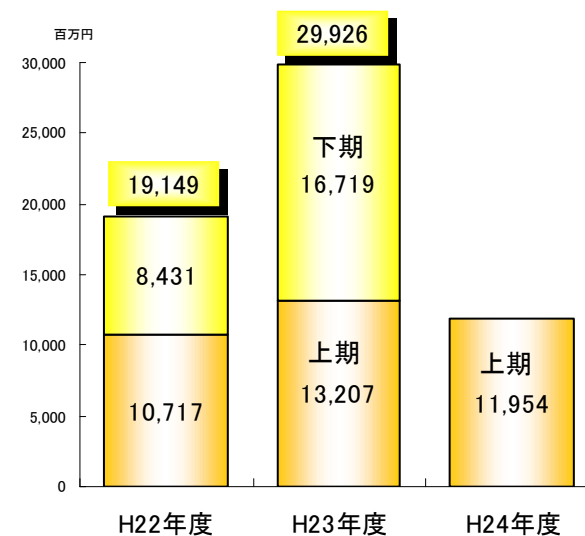
コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 債券5勘定戻

※百万円未満は切り捨てて表示しております

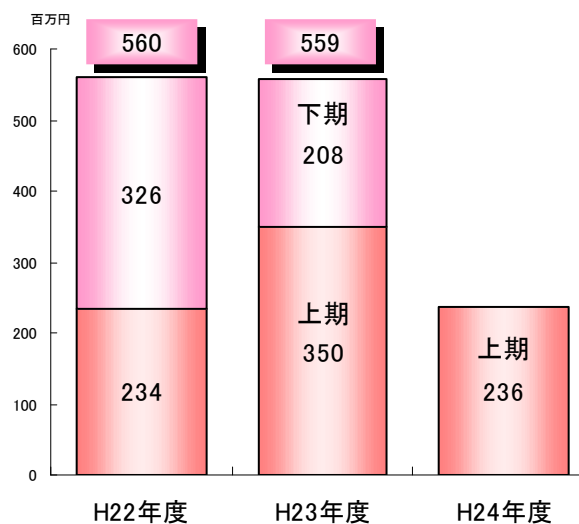
① 投信販売額 (含む法人)



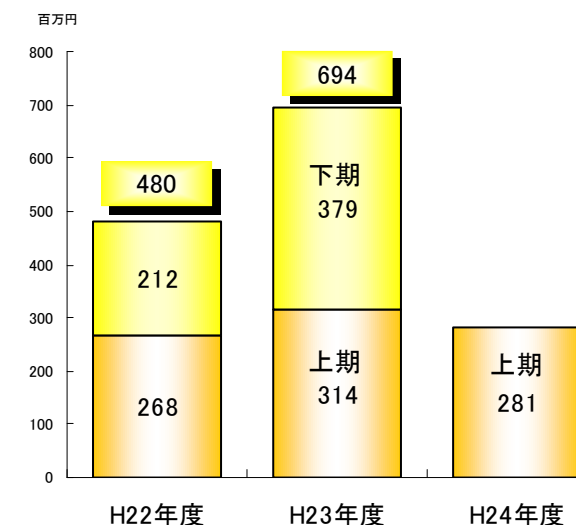
② 生保販売額



③ 投信手数料 (含む法人)



④ 生保手数料



【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 山崎、大串

TEL 0952-25-4553

本資料は当行の財務状況に関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。